

OUSフォーラム2026

ポスター発表 出展者説明会

研究・社会連携センター
研究社会連携部



OUSフォーラム2026

ポスター発表 出展者説明会

0. 昨年度からの主な変更点

1. 開催プログラム

2. 準備のお願い

3. 当日(8/27)のお願い

研究・社会連携センター
研究・社会連携部

0. 昨年度からの主な変更点

☆ 交通手段:

大学用意のバス or 公共交通機関の利用 ⇒ **公共交通機関の利用**

☆ ポスターのサイズ

A1縦(横594mm×縦841mm) ⇒ A1縦(横594 mm×縦841 mm) **2枚**
⇒ **A0縦(横841 mm×縦1188 mm) 1枚**
⇒ **A0横(横1188 mm×縦841 mm) 1枚**

☆ パネルの割り当て: **1テーマでパネル1枚**

☆ 口頭発表 : 本年度は実施せず

☆ 会場

1階イベントホール&1階ロビー&ANAホテル

⇒ 受付: **学外ー3階, 学内ー1階**

特別講演、産学官金連携事例紹介: **3階コンベンションホール**

後半の部(ポスター発表展示): **1階イベントホール**

交流会: **2階展示ホール**

1. 開催プログラム

日時：2026年8月27日（木）13:00～18:30

会場：岡山コンベンションセンター

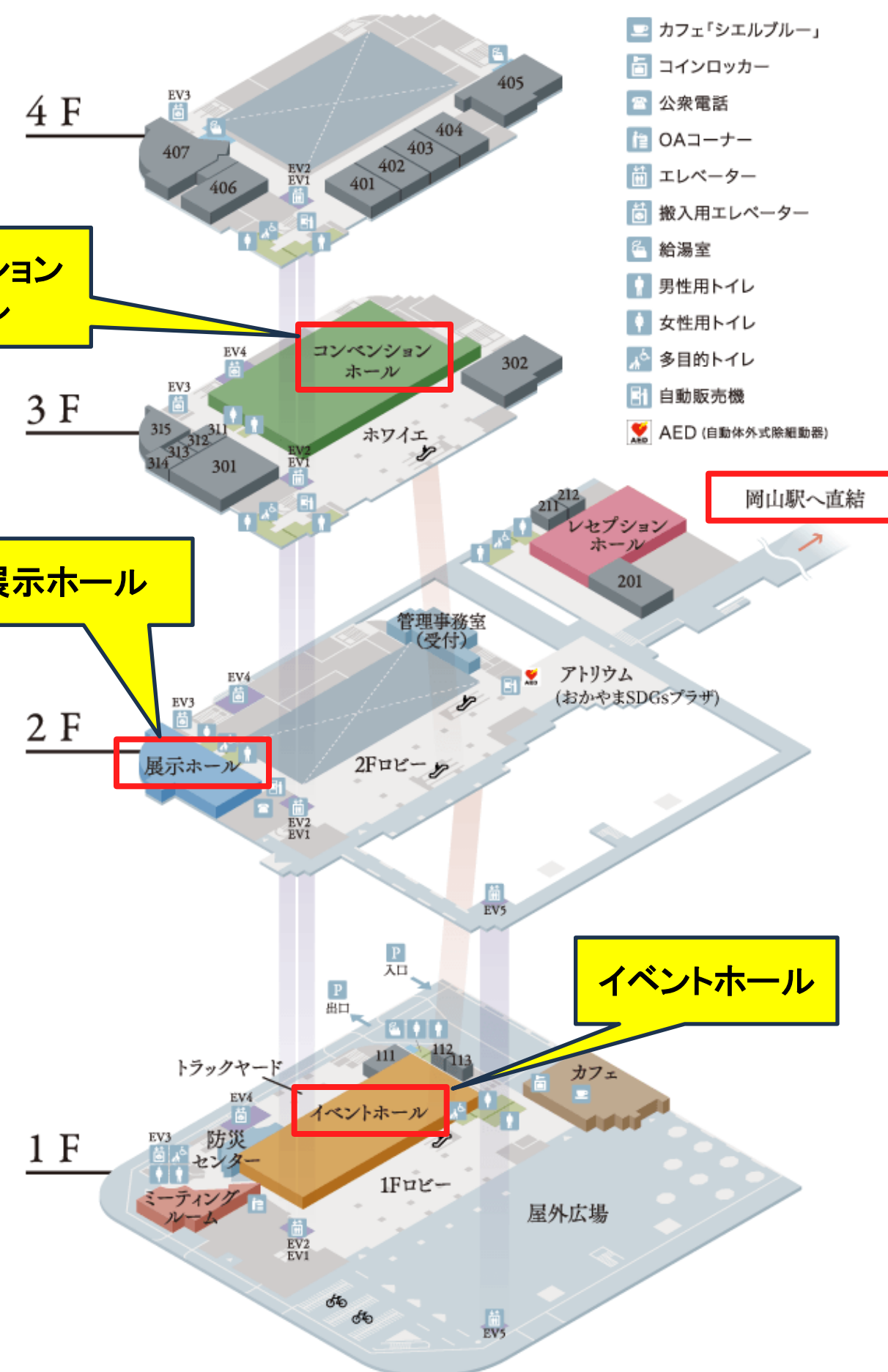
（岡山市北区駅元町14-1）

主催：岡山理科大学

共催：倉敷芸術科学大学



Floor Map
フロアマップ



1. 開催プログラム

◇ 2026 前半の部(特別講演など) : **3階 コンベンションホール**

13:00 ~ 13:10 学長挨拶

13:10 ~ 14:00 特別講演

「半導体は、あなたのすぐそばにある」

～暮らしを支える技術と、岡山から世界を支えるタツモの役割～



タツモ株式会社
代表取締役社長 さとう やすゆき 佐藤 泰之 様

1988年 タツモ株式会社入社
2016年 取締役就任
2019年 常務取締役就任
2021年 取締役副社長就任
2023年 代表取締役社長就任
現在に至る

講演要旨:

半導体は、スマートフォン、自動車、家電、AI機器など、現代の暮らしを支える基盤技術です。本講演では、半導体が私たちの身近な生活の中でどのように使われているかをわかりやすく紹介するとともに、その生産を支える半導体製造装置の役割について解説します。あわせて、岡山に本社を置くタツモ株式会社が、先端パッケージ分野をはじめとする技術領域で、世界の半導体産業にどのように貢献しているかを紹介し、地域企業と先端技術とのつながり、ものづくりの魅力、そして未来社会を支える産業の可能性についてお話しします。

14:10 ~ 15:00 産学官金連携事例紹介

① 岡山理科大学 研究・社会連携機構長 挨拶

副学長 教授 南 善子

② 学生や研究者の「挑戦の機会」を創出

アントレプレナーシップセンター長 准教授 本下 真次

③ 価値共創のための産学連携による事業と可能性

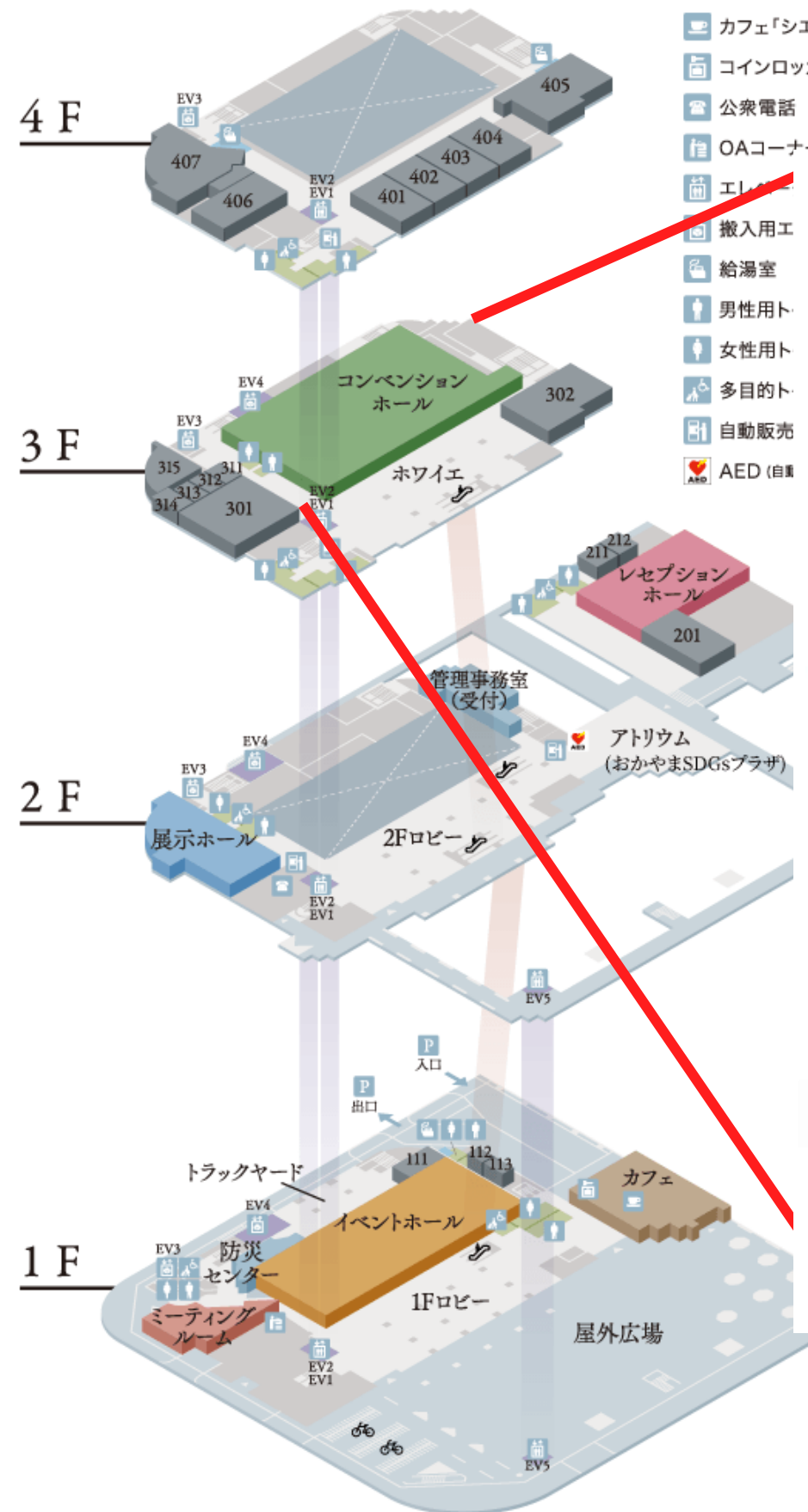
経営学部 経営学科 教授 林 恒宏

④ 次世代6G通信用電子基板材料

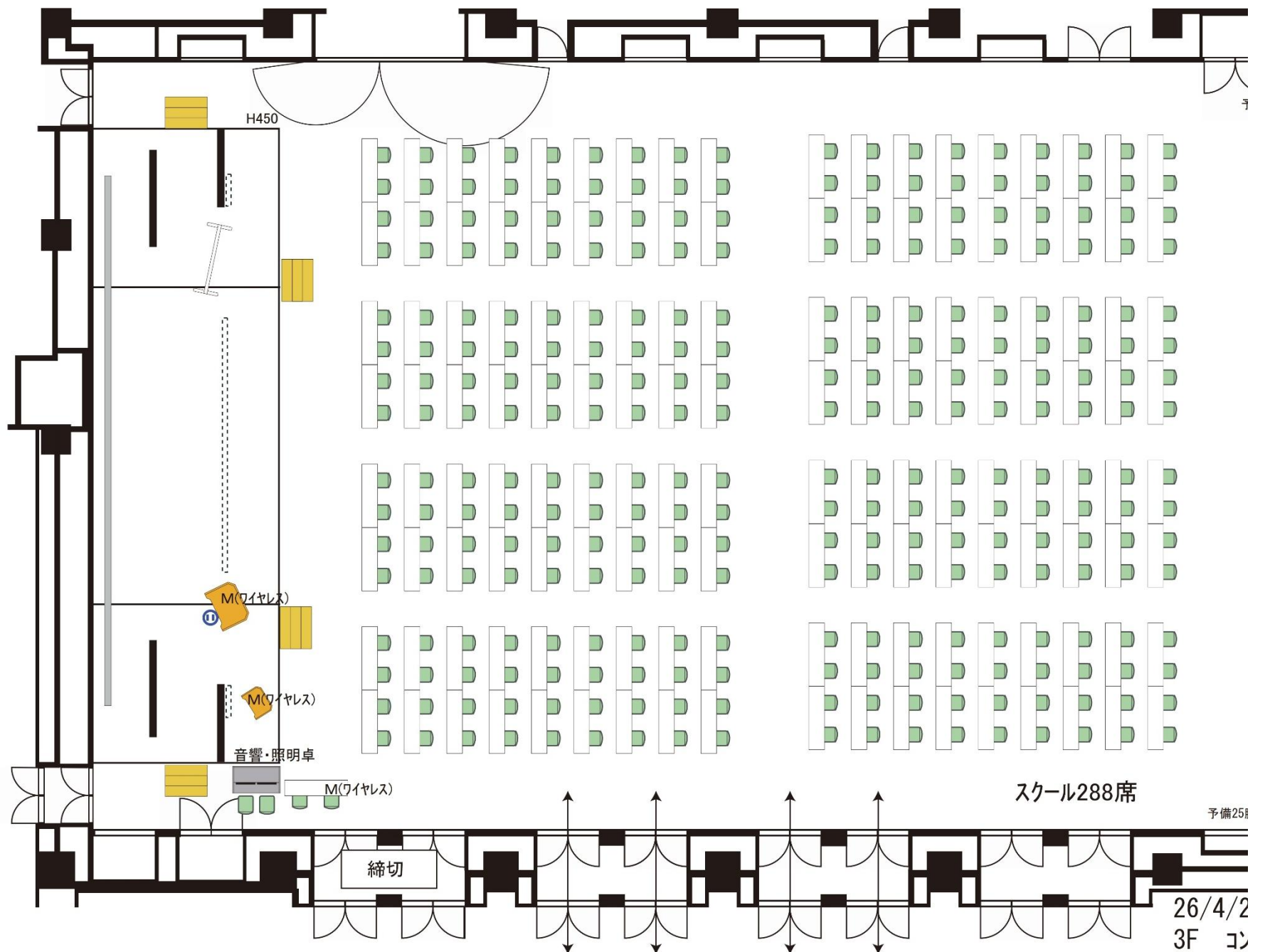
理学部 基礎理学科 教授 東村 秀之

1. 開催プログラム

Floor Map
フロアマップ



3階・コンベンションホール



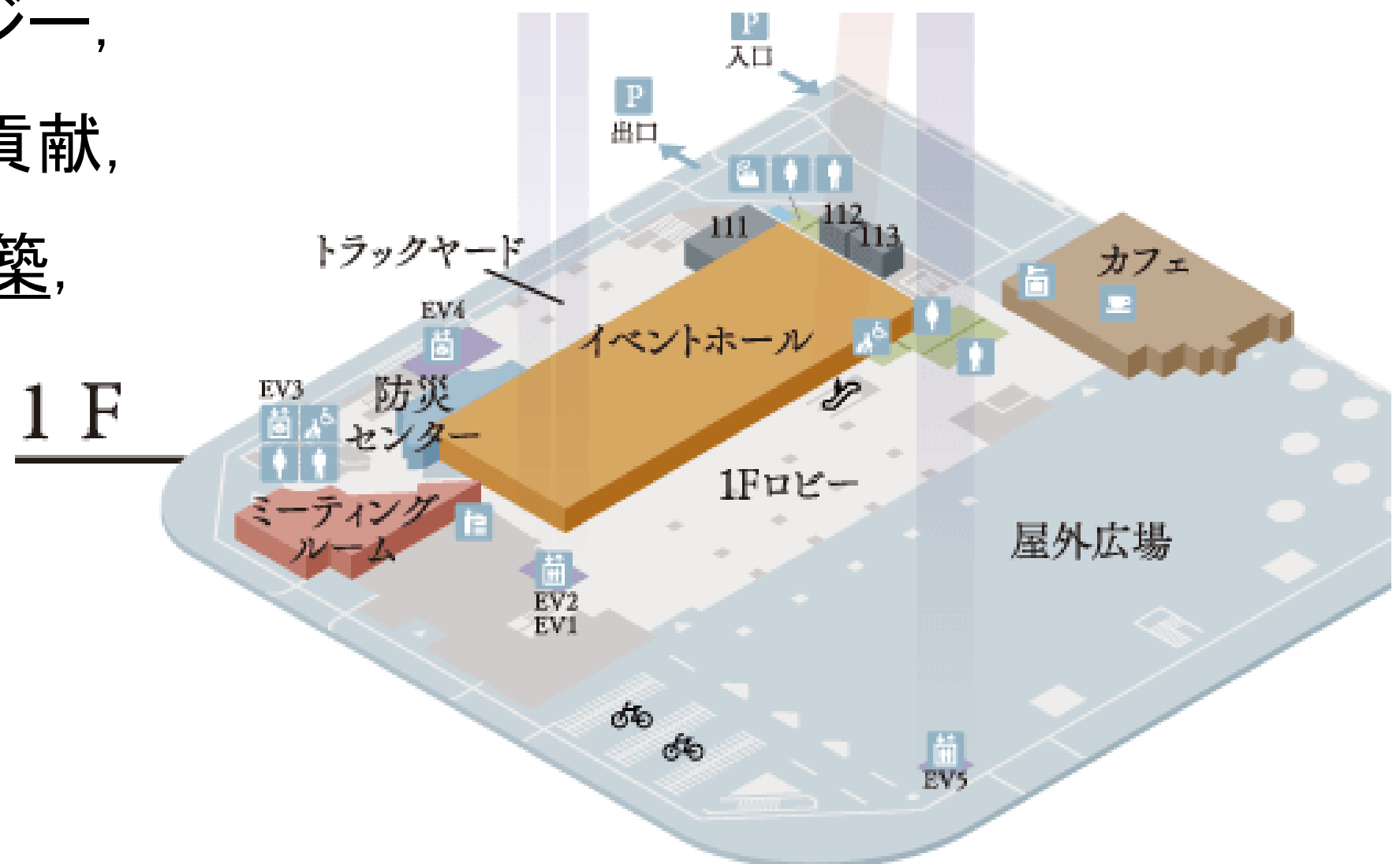
1. 開催プログラム

◇ OUSフォーラム2025 後半の部(教育研究シーズ発表)

: **1階 イベントホール**

15:10 ~17:10 ポスター発表(121件) ※口頭発表は実施しません

基礎科学, 化学・機能材料, エレクトロニクス・情報, 金属・機械・ものづくり,
生化学・バイオテクノロジー,
医療・獣医, 教育・地域貢献,
古生物・地史, 経営, 建築,
博士(後期)課程

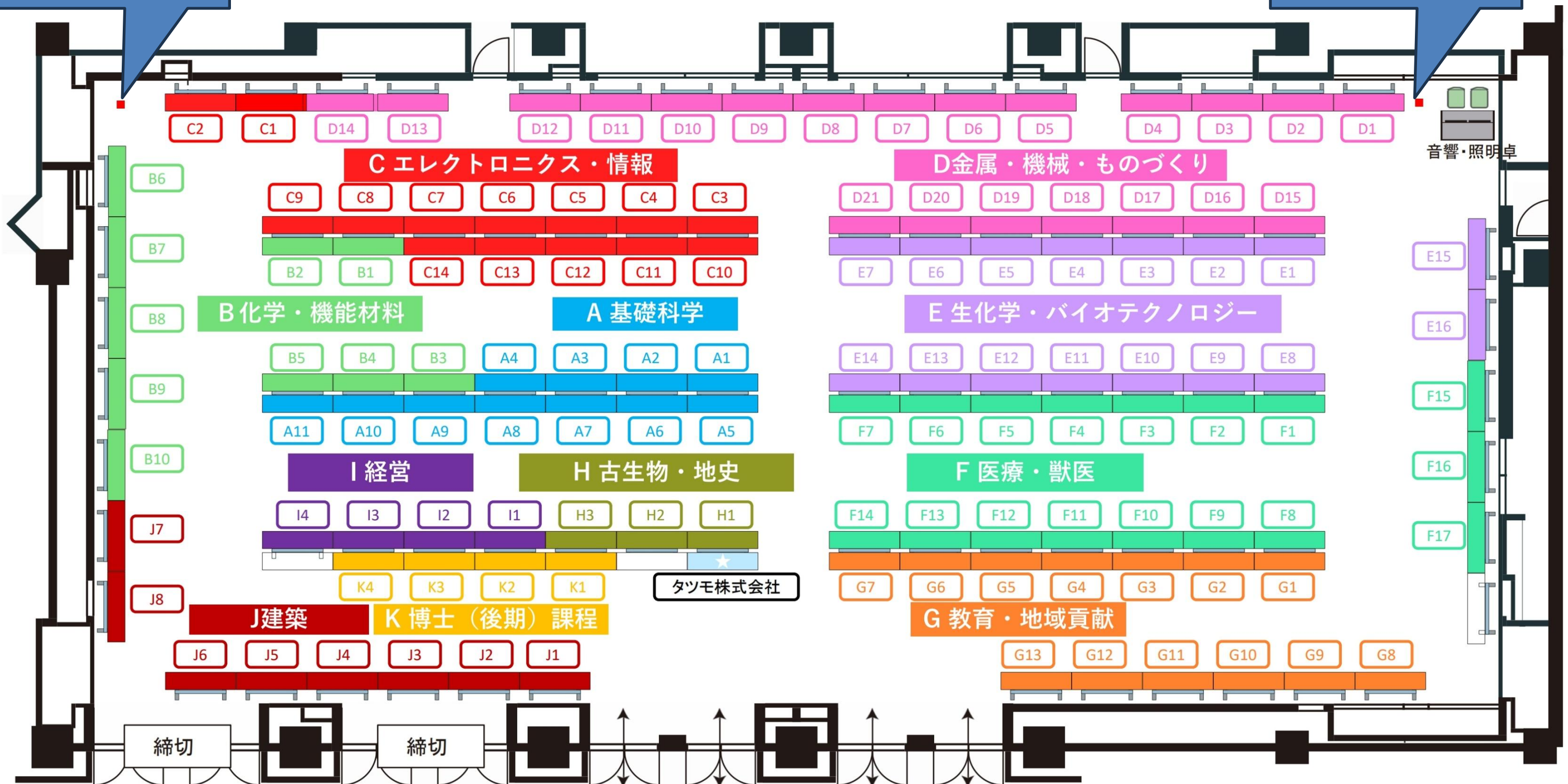


1. 開催プログラム

1階・イベントホール

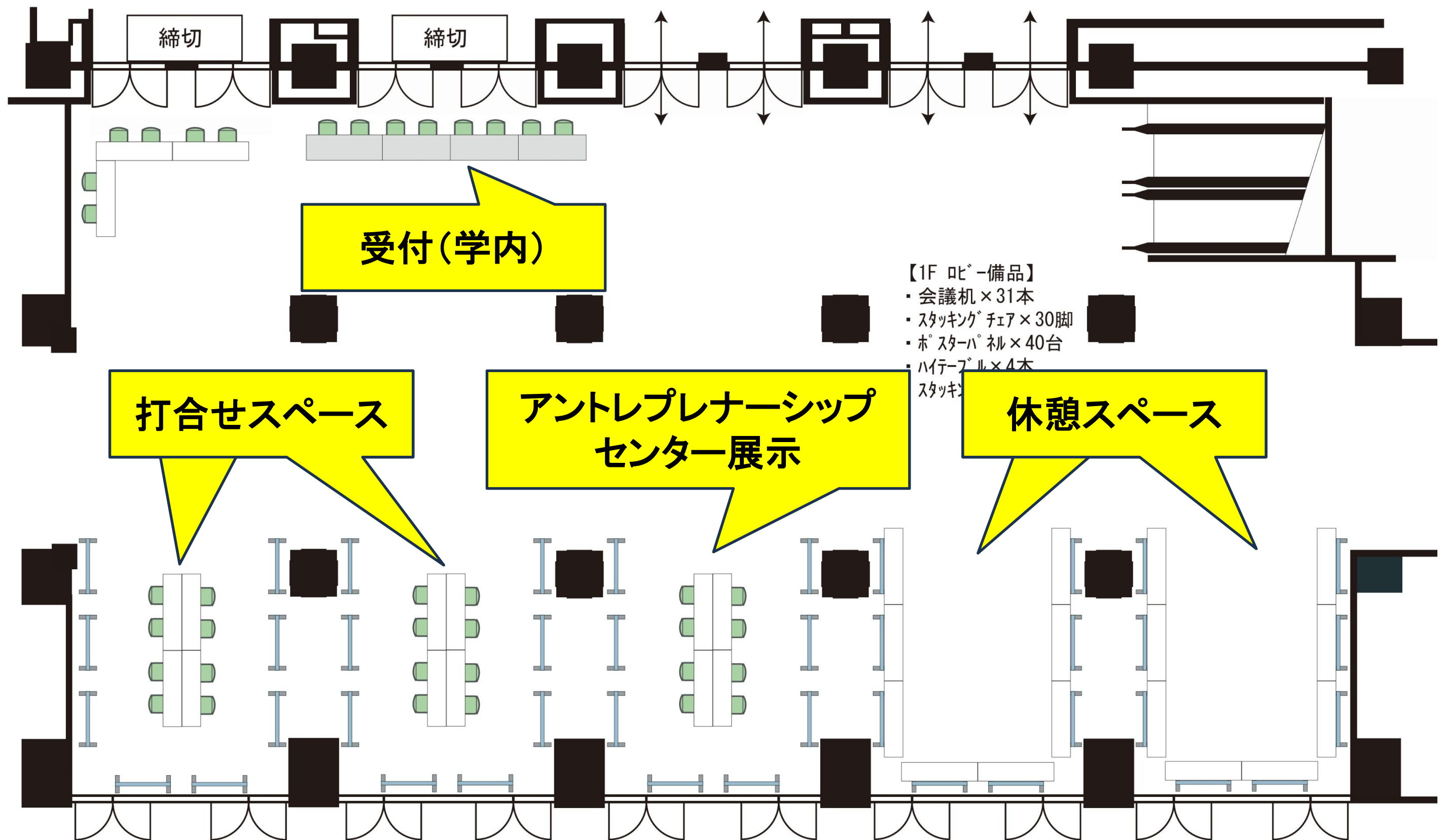
電源ユニット

電源ユニット



1. 開催プログラム

1階・イベントホールロビー



1. 開催プログラム

◇ 交流会

17:40 ~ 18:30 産学官金連携奨励賞の発表と表彰

ここ

[会場: 2階・展示ホール]



2. 準備のお願い

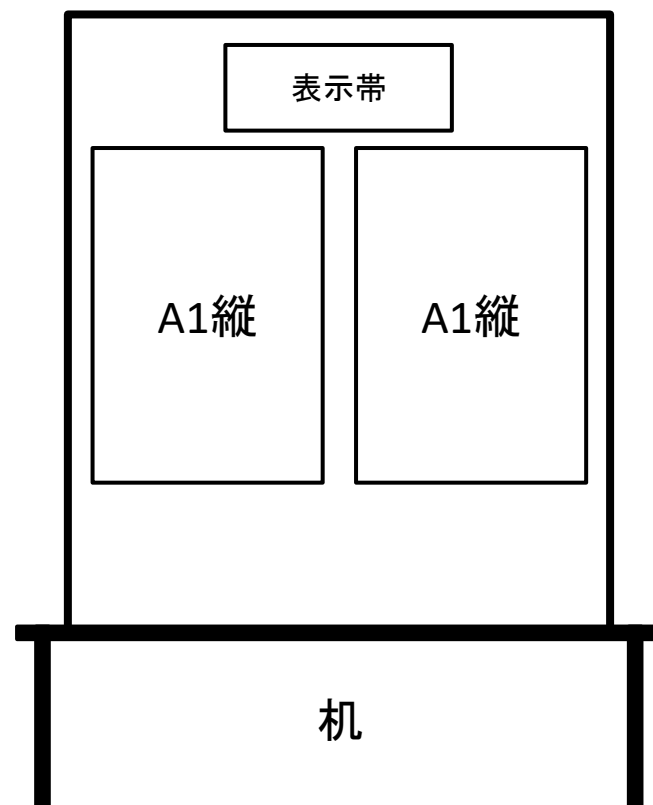
~~◇出展者リスト(ステーション)の確認~~ ⇒ リーフレット校了

~~◇アブストラクトの提出~~ ⇒ アブストラクト集の校正完了、HPで公開済み

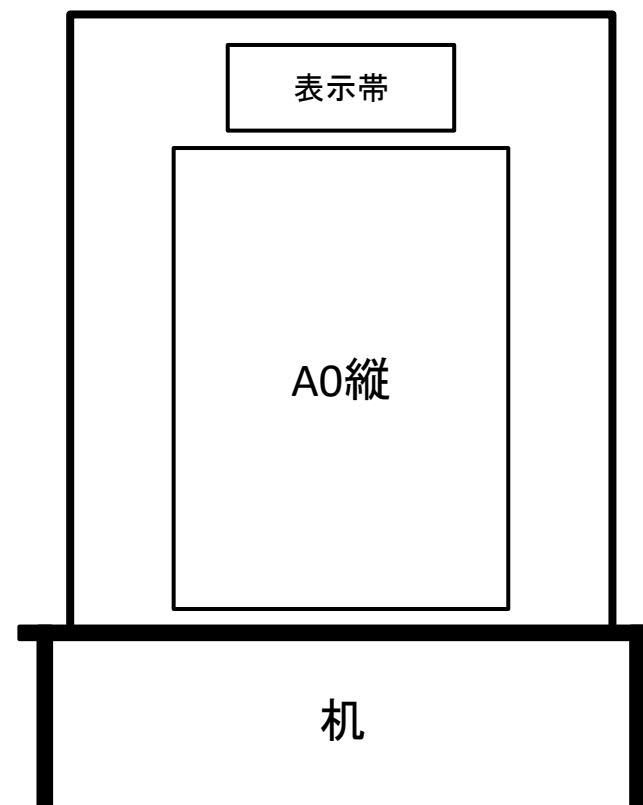
◇ ポスター発表展示会場のレイアウト ⇒ 確認依頼中(8月2日まで)

◇ ポスターの作成について: 推奨ポスターサイズ

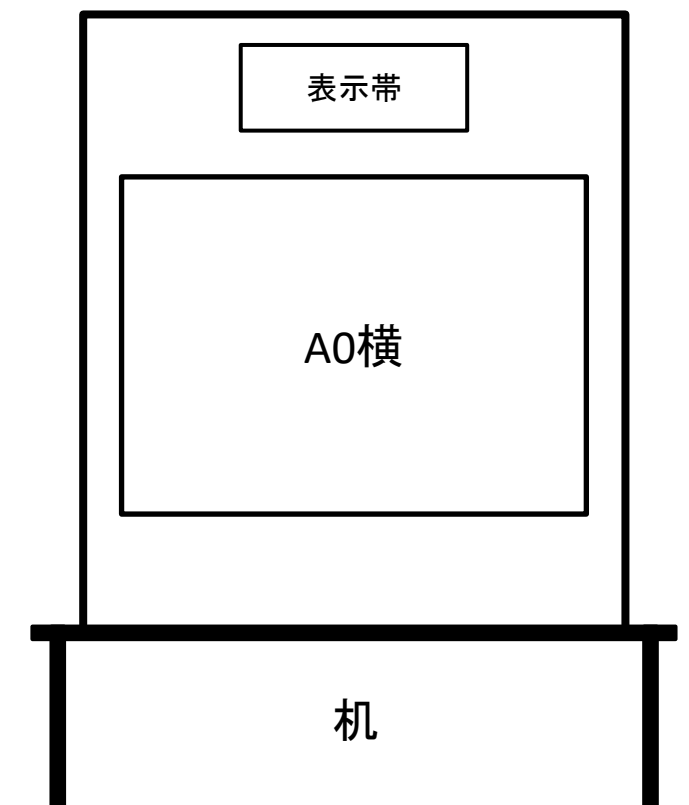
A1縦2枚
(横594 mm × 縦841 mm)



A0縦
(横841 mm × 縦1188 mm)



A0横
(横1188 mm × 縦841 mm)



OUS フォーラム 2026 研究シーズ 出展リスト

※代表者 = 太字 ※発表者 = 氏名の文頭に○

ステーション 番号	展 示 テ ー マ	出 展 者
A 基礎科学		
A1	橋円曲線暗号で用いる安全で処理効率が良い橋円曲線の選択	安田貴徳、○志賀尊
A2	代数幾何と平坦性	山田紀美子、○大枝飛羽
A3	交代磁性体 KV_2Se_2O の磁気ゆらぎに対する電子相関効果の解析	今井剛樹、○山本将悟
A4	二次元強磁性体における格子変形に伴うトポロジカルマグノン状態の変遷	今井剛樹、○松波龍騎
A5	宇宙を説明する様々な重力理論	山内大介、○山中大和
A6	アストロメトリ法の宇宙論への応用	山内大介、○前岡凜
A7	超伝導型進行波パラメトリック増幅器におけるアナログブラック／ホワイトホールの特有振動	山内大介、○前田環、広島大学、京都大学
A8	射影平面の配置族とその自由分解の退化について	坂内真三、○宮本俊幸
A9	ヤングタブローと RSK 対応の組み合わせ論	阿部拓、○村上優
A10	シミュレーションから探る太陽系に似た環境と宇宙の見えない物質	長尾桂子、○中條初明、中京大学、総合研究大学院大学
A11	地球の重力で生じる高密度暗黒物質領域	長尾桂子、○中村共喜、國立勤益科技大學
B 化学・機能材料		
B1	コンピュータシミュレーションによる新しい創薬・ものづくり	○矢城陽一朗、甲南化工（株）、FMO 創業コンソーシアム
B2	カーボンニュートラルを加速する低コストな次世代有機太陽電池材料の創製	○岩永哲夫、山本薫、酒井誠、京都大学化学研究所
B3	高溶解性アミノ置換フェニルスルホニル基の開発とパイ拡張スルホン合成への応用	折田明浩、○松永至恩、岩倉旭良、高橋力也、奥田靖浩
B4	光電変換材料への応用を志向したドナー- π -アクセプター型ジベンゾペンタレン色素の合成	折田明浩、○大島蓮音、小林真生、奥田靖浩
B5	SDGs：難分解性素材のリサイクルおよび代替化への挑戦	○折田明浩、東村秀之、タイガースポリマー（株）
B6	T字型マイクロ流路内における液々2相交互流に与える合流角度の影響	平野博之、○尾路慧、井上莉香子
B7	光励起電子移動による光環化を基盤技術とした含窒素 π 電子材料の創製	奥田靖浩、○高本朔汰、白井晴子、吉成智哉、三宅寛翔、折田明浩、岡山大学異分野基礎科学研究所
B8	水溶性ポリフィリン・フタロシアニン系金属錯体の合成と光機能評価	赤司治夫、○上田玲実
B9	青色系ガラスの作製と微細構造解析	草野圭弘、○川原大輝、福永花歩、牧涼介、グラスイメカ、滋賀県工業技術総合センター、岡山大学、生産開発科学研究所
B10	Al_2BC_3 の酸化反応を利用した多孔質 Al_2O_3 の合成	草野圭弘、○牧涼介、中島雅、岡山セラミックス技術振興財団
C エレクトロニクス・情報		
C1	チップ内ネットワークに基づく血管径可視化手法のハードウェア化	近藤真史、○田中宏樹
C2	3D モデルを用いた機械学習手法の高精度化と空間関係検出への応用	近藤真史、○川村一葵、木林絃希、津田晃輝、セリオ（株）、（株）荒木組
C3	周波数ロック機構付き3軸ベクトル光ポンピング磁気センサの開発	河村実生、○冷言飛
C4	ドローンで撮影した架空地線画像における異常箇所の自動検出	○太田寛志、クルモフパレリー、川崎医療福祉大学
C5	ディーブラーニングを用いた非接触センシング技術の応用研究—ジェスチャー制御とバイタル計測—	○韓原道夫、小橋優、荒谷虎太郎、國塩海里
C6	統計的手法と骨格推定 AI を用いたスポーツ競技の客観的評価に関する研究—フィギュアスケートの採点法再評価および多関節における MediaPipe 等の活用—	○韓原道夫、秋山敬彦、稲澤綜太、山崎優貴、藤田健太郎
C7	映像情報の地図への紐づけと操作インタフェースに関する研究	島田恭宏、○佐藤利玖
C8	防犯カメラ映像に映る人物のリレー追跡技術に関する研究	島田英之、○喜讀杏奈、平田豊、（株）トスコ
C9	大規模な組合せ最適化への量子アンニーリングにおける Qbit 削減手法の検討	○李天驊、松田和幸、川島正行
C10	効率的な生産スケジューリングシステムの開発	片山謙吾、○青山優希
C11	ドライバーの安全性を重視したモビリティ経路計画アルゴリズムの開発	片山謙吾、○安延慎治、青山優希、（株）グリーンサービス・イバラ
C12	PUF 応答の軟判定復号による高信頼確生成方式の研究	○麻谷淳
C13	アフォーダンスとユーザー特長を用いた VLM による画像分析	椎名広光、○中村光一、大西朔永、椎名広光
C14	特徴点マッチングによる道路面上における位置特定と車速推定への応用	○佐藤洋一郎
D 金属・機械・ものづくり		
D1	低圧駆動型柔軟アクチュエータを用いた移乗支援型車いすの設計と構築	趙菲菲、○田村優貴、赤木徹也、堂田周治郎、篠原隆
D2	神経筋疾患患者に向ける手首リハビリデバイスの予備評価および環境構築	趙菲菲、○高須啓太、赤木徹也、堂田周治郎
D3	下肢不自由児のための療育支援機器における ArUco マーカーを用いた 18 脚移動ロボットの角度計測	趙菲菲、○平田俊介、赤木徹也、堂田周治郎、篠原隆
D4	生活支援ロボットの開発	藤本真作、○氏平聖海
D5	機械部品のスケッチの 3D モデルへの自動変換法	田中雅次、○李恩澤、趙月洋、朱安成、宋安途、アイコクアルファ（株）
D6	DLC 膜のロックウェル密着性評価におけるラマン5ピーク分離解析の適用	○中谷達行、小佐野芳寿、三菱鉛筆（株）
D7	軸受鋼の転動疲労寿命に及ぼすグリースの影響	關正憲、○松下太一、原田真之介、出光 NTG（株）
D8	キャピテーションピーニング条件の最適化に関する基礎的研究	關正憲、○松本晃聡、須田晴香、柳樂優海、東北大学
D9	プラスチック歯車対と鋼歯車対における歯面間減衰比の測定	關正憲、○神原脩汰、中元秀俊
D10	アームの回転運動を利用した 2 軸加振機の可能性	林良太、○小島淳、武藤和希、吉田浩治
D11	熱可塑性 CFRP / A5182 接着重ね合わせ継手の曲げ特性および破壊挙動の評価	中井賢治、○石井誠太郎
D12	接着接合したピン・カラー異材継手の衝撃せん断特性の評価	中井賢治、○石井弘倫
D13	ハイスピードカメラを用いた多足類の歩容解析	吉田浩治、○塩谷真那斗、西山智也、林良太、近畿大学
D14	変形機構と水平歩容能力を有する柔軟空気圧はしご昇降ロボット	赤木徹也、○猿田拓士、趙菲菲、篠原隆、横田雅司
D15	純チタン製バルーン拡張型冠動脈ステントの最適設計	清水一郎、○芳賀匠海、時岡明輝、（株）日本医療機器技研
D16	海洋波によって引き起こされる海洋混合のメカニズム解明	岩野耕治、○柴田芳和
D17	ガス流の温度・流速の瞬時面分布同時計測法の開発	近藤千尋、○菅野勇希、難波和希
D18	デジタルバルブユニットの制御性能とエネルギー効率	小林亘、○高橋智紀、安並天音、宋羽浩
D19	自律分散型の群ロボットを用いた協調搬送アルゴリズムの検証	小林亘、○高田康平、谷淵誠一郎、李天驊
D20	除草作業ロボットに関する制御システムの開発	横田雅司、○松本龍馬、梶家龍、オカネツ工業（株）
D21	酪農作業の負担軽減を目的としたパワーアシスト技術に関する基礎研究	横田雅司、○清水拓斗、石畑慎之介、井上陽一、久枝啓一
E 生化学・バイオテクノロジー		
E1	アルギン酸ハイドロゲル固定化パン酵母の代謝物質測定系の構築	松浦宏治、○張明浩、岡山大学
E2	ヒト精子の保存温度・培養液と運動性の関係	松浦宏治、○荘雅淇
E3	顕微画像解析による哺乳類精子鞭毛運動と頭部運動の関係	松浦宏治、○張成博

E4	味覚変換タンパク質ミラクリンの立体構造解析	山口悟、○池川心穂、市川明日香、中木凜、兵庫県立大学
E5	味覚変換タンパク質ミラクリンの精製方法	山口悟、○塩崎愛佳
E6	100℃でタンパク質を分解できる酵素（Tk-SP）を用いた丈夫な基質の分解評価と資源循環への応用	古賀雄一、○西野晃基、サラヤ（株）
E7	耐熱性タンパク質ドメインからの Binding scaffold（人工抗体）の開発	古賀雄一、○大平朋季
E8	藍染め染料インジゴの大腸菌による大量生産の試み	南善子、○草場隆
E9	マルチモーダル赤外超解像顕微鏡による毛髪内ケラチンタンパク質の観察	酒井誠、○三船心花、片岡大地、高橋広奈
E10	パブリッシングによるオゾン水の作製方法の検討	内貴猛、○劉沢西、宮崎大学、（株）ULAS
E11	オゾン水噴霧によるオゾン濃度低下要因の検討	内貴猛、○胡俊哲、肖振翼、宮崎大学、（株）ULAS
E12	野生酵母の探索と醸造への応用	○金子明裕、榎田実来、田口未佳、嘉美心酒造（株）
E13	天敵臭化合物の忌避剤への応用を目指した基礎的検討：マウスでの行動解析	水野信哉、○中村隆聖
E14	自己免疫疾患関連抗原 Caspr2 と MuSK の TAPS 化処理による特性変化の検討	二見翠、○施雲琦、加茂聖也、徳永凌山
E15	間葉系幹細胞培養上清が皮膚線維芽細胞に及ぼす影響と老化との関係	神吉けい太、○劉金燦、李澄陽
E16	栄養欠乏環境における細胞死とヒアルロン酸による細胞保護効果の検討	神吉けい太、○陳吳宇
F 医療・獣医		
F1	The OUS Noah's Ark: 動物を護る iPS 細胞プラットフォーム	○早川晃司、宮前二朗、愛媛県立とべ動物園
F2	侵入・野生化した動物集団における疾病解析、病原体保有状況とその影響	○嘉手苅将、久家賢治、渡辺俊平、神田卓弥、中本敦、山岸由季、西阪祐希、環境省、休暇村大久野島
F3	臨床検査技術を基盤としたワンヘルスの実践	○畑明寿、古本佳代、中村進一、嘉手苅将、太田奈保美、藤谷登、（株）山田養蜂場本社、（株）ジーズテック
F4	いきもの QOL の新次元：社会実装を見据えた理大発スマートアニマルヘルスケアの実証	○江藤真澄、赤木徹也、趙菲菲、久野弘明、横田雅司、片山謙吾、川畑宣之、荒井伸太郎、寺野元規、古本佳代、佐伯香織、宮部真裕、久枝啓一、井上陽一、大西章弘、吉竹涼平、清水拓斗、高須啓太、足利和奏、小出彩奈、幸村星那、西川奈緒、松古陽向、下川愛莉、望月陽菜
F5	飼育環境へのクレート設置が実験犬の行動に及ぼす影響	○三重慧一郎、武光浩史、平延あやな、伊藤百々葉、橋本咲也香、橋本直幸
F6	動物医療従事者による小学校飼養ウサギの避暑対策に対する支援の教育効果	○三重慧一郎、藤田珠羽、倉敷市立連島北小学校
F7	マウス乳癌モデルを用いた水溶性パクリタセルの抗腫瘍効果の検証	○三重慧一郎、仲章伸、CDW ライフサイエンス（株）
F8	慢性腎臓病の分子治療標的を探る	向田昌司、○村越実来、兒玉朋子、水野理介
F9	げっ歯類特異的乳酸菌代謝物は高血圧症の新たな治療標的になりえるか	向田昌司、○石田茉弘、今井龍弥、田嶋弘貴、尾崎博、水野理介、京都大学医科学研究科医学研究支援センター、和歌山県立医科大学先端医学研究所生体調節機構研究部
F10	高血圧病態における胸管の構造的変化の検討	兒玉朋子、○蝶野雪奈、浜田直輝、向田昌司、水野理介
F11	アルドステロン誘発性血管内皮機能障害の薬理学的解析	兒玉朋子、○石川駿介、田嶋弘貴、向田昌司、水野理介
F12	モンゴル在来家畜の特性解析と生産性向上のための共同研究プログラム	奥田ゆう、○陸拾来、鎖田麗星、井上陽一、太田奈保美、久家賢治、岡山大学大学院、モンゴル生命科学大学
F13	仮性狂犬病ウイルス増殖抑制効果を有する薬剤の探索	○藤井ひかる、岩附由夏、菊入葵、中村進一
F14	パロア症関連ウイルスの高感度迅速検出法の確立	○児島一州、小川寛人
F15	社会人教育プログラム「犬と猫の栄養管理学」の開発	○中村有加里、深瀬徹、ロイヤルカナンジャパン（同）
F16	削り節製品に対する犬と猫の嗜好性：製品間の嗜好性の相違	○中村有加里、深瀬徹、マルトモ（株）
F17	生態系への脅威になるか？野外で採集される外国産カブトムシ・アトラスオオカブトの場合—	○中村有加里、深瀬徹
G 教育・地域貢献		
G1	アカンパニメント（伴走型自立支援）を活用したリーダーシップの実践	○野間川内一樹、順天堂大学、日本ライフアカンパニメント協会
G2	マンダラチャートを用いた自律型リーダーシップ教育の実践と評価	○野間川内一樹、横山ひとみ、林恒宏、安井正也
G3	研究・社会連携機構 総合機器センターのご紹介	岩永哲夫、○櫻井諒司、松村峻汰
G4	理科好きを育てる探究型学習教材の開発	○高橋信幸、石塚麻友、妹尾凌太、岡山理科大学附属中学校
G5	大学と教育機関の連携による教職キャリア形成支援実施モデルの開発	○高橋信幸、北原和明、笹井香、坂口武典、福田博人、矢掛町教育委員会、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会
G6	Gemini の Gem を活用した大学基礎数学学習支援の試み	○平松直哉、中川重和、大熊一正、奥村英則、瀧田裕康、安田貴徳
G7	パラパラマンガで学ぶ科学シリーズ①：分子振動の巻	○堀越亮
G8	「集まれ！科学への挑戦者」の持続的な運営	○笠展幸、「集まれ！科学への挑戦者」実行委員会
G9	開発教育・研究機関としての工作センターの取組み	○篠原隆、寺野元規、龜山寛司、佐々木友惟
G10	ものづくり体験教育 ～たん Q くんメダル作り体験～	○寺野元規、篠原隆、龜山寛司、佐々木友惟、露無正治
G11	日本の高校生における数学学習の現状を様々な情報やデータから推測する	福田博人、○秦一真
G12	AI を用いた熟練教員シミュレーションによる模擬授業支援	○大西朔永、椎名広光、保森智彦
G13	九州地方における近世キリシタン墓の考古学的研究	三阪一徳、○浅田真実
H 古生物・地史		
H1	弥生時代の土器片を用いた古地磁気強度研究	龜山唯達、○大林拓未、奈良県田原本町教育委員会、奈良県立橿原考古学研究所、九州大学
H2	縄文時代後・晩期の九州地方における土偶出土遺跡に関する考古学的研究	洪惠媛、○徳丸葵
H3	ジュラ紀／白亜紀動物相転換の解明：理大のモンゴル恐竜研究を次の段階へ	○高崎竜司、貴古玄貴、辻極秀次、青木一勝、モンゴル科学アカデミー古生物学研究所
I 経 営		
I1	ネパールと日本における野球統括組織の比較分析 — 発展段階の視点から —	岡田康太、○ラマビシャル、上野慧人、安井正也
I2	その政策や広告に効果はあったのか？消費者行動モデルを援用した効果検証	○神田將志
I3	進水式は企業信頼と人材確保にどう貢献しうるか — 来場者調査より —	○高橋良平、西谷有司、真鍋大輝、土本莉子、谷友彰、甲斐大和、金嘉保、尾道造船（株）
I4	MediaPipe を用いたバスケットボールのシュート動作解析と主観的認識の比較研究	石田恭生、○平野李孔、韓原道夫、桑谷隼
J 建 築		
J1	経路空間における迷宮性についての研究	増田俊哉、○片山快
J2	積層した透過素材による心理的知覚の創出と影響	増田俊哉、○忠田拓真
J3	狭小住宅における内部境界手法に関する研究	弥田俊男、○山口寛太
J4	現代住宅における玄関空間の多用途化に関する研究	弥田俊男、○山口遼斗
J5	意図的未完の建築における設計手法に関する研究	弥田俊男、○山田理子
J6	岡山理科大学 B3 号館・D4 号館を対象とした傾斜地上下に建つ建物の微動測定	○堀田洋之、飯野琴弥、佐野瑞姫、上原百加、清水建設（株）
J7	阪神・淡路大震災被災者が捉えた恒久住宅の意味に関する基礎的研究 — 「阪神大震災を記録し続ける会」の分析を通して —	馬淵大宇、○角田光、増田悠一郎
J8	コンピュータショナルデザインを用いた最適な空間構造の設計	小林正実、○河上千夏、中西啓二
K 博士（後期）課程		
K1	ラマン5ピーク分離解析による DLC 膜の構造記述子の抽出と最適化 — 臨界剥離荷重を例に —	中谷達行、○小佐野芳寿、三菱鉛筆（株）
K2	酸化ストレスに着目した高血圧の分子治療標的の探索	向田昌司、○田嶋弘貴、兒玉朋子、水野理介
K3	建築指標値が空間体験を介して感覚判断に接続される条件と乖離要因の解明	馬淵大宇、○増田悠一郎
K4	動物バイタル計測に向けたミリ波レーダを用いた対象位置推定手法の検討	荒井伸太郎、○藤本大智、広島大学、エスカカ電子工業（株）

2. 準備のお願い

☆ 展示ポスターの記載項目

- ・タイトル
- ・研究室名：必須ではない
- ・研究目的・応用の可能性：一般の方が理解できる平易な言葉で明記
- ・字、図表：大きく見やすく(文字フォントサイズ：42pt程度以上)
- ・特許：出願済みの場合：記載のこと(出願番号or 特許番号 など)
 - 出願の予定がある場合：研究・社会連携部に連絡のこと

2. 準備のお願い

☆ 展示ポスターの印刷

- ・予約電話番号 内線:1186 外線:086-256-9731
- ・こちらで用意する用紙は普通紙のみです。
- ・印刷はご自身でお願いいたします。
- ・印刷の際は、ポスターのPDFファイルを入れたUSBメモリをご持参ください。
- ・予約は教員が行ってください。(印刷は学生さんでも可能です)
- ・ポスターを預ける場合は8/25(火)までに研究・社会連携部までお持ちください。
(当日はパネル前に置かせていただきます)

3. 当日（ 8/27 ）のお願い

◇ 用意されているもの

☆ ポスター展示用ボード：右図参照

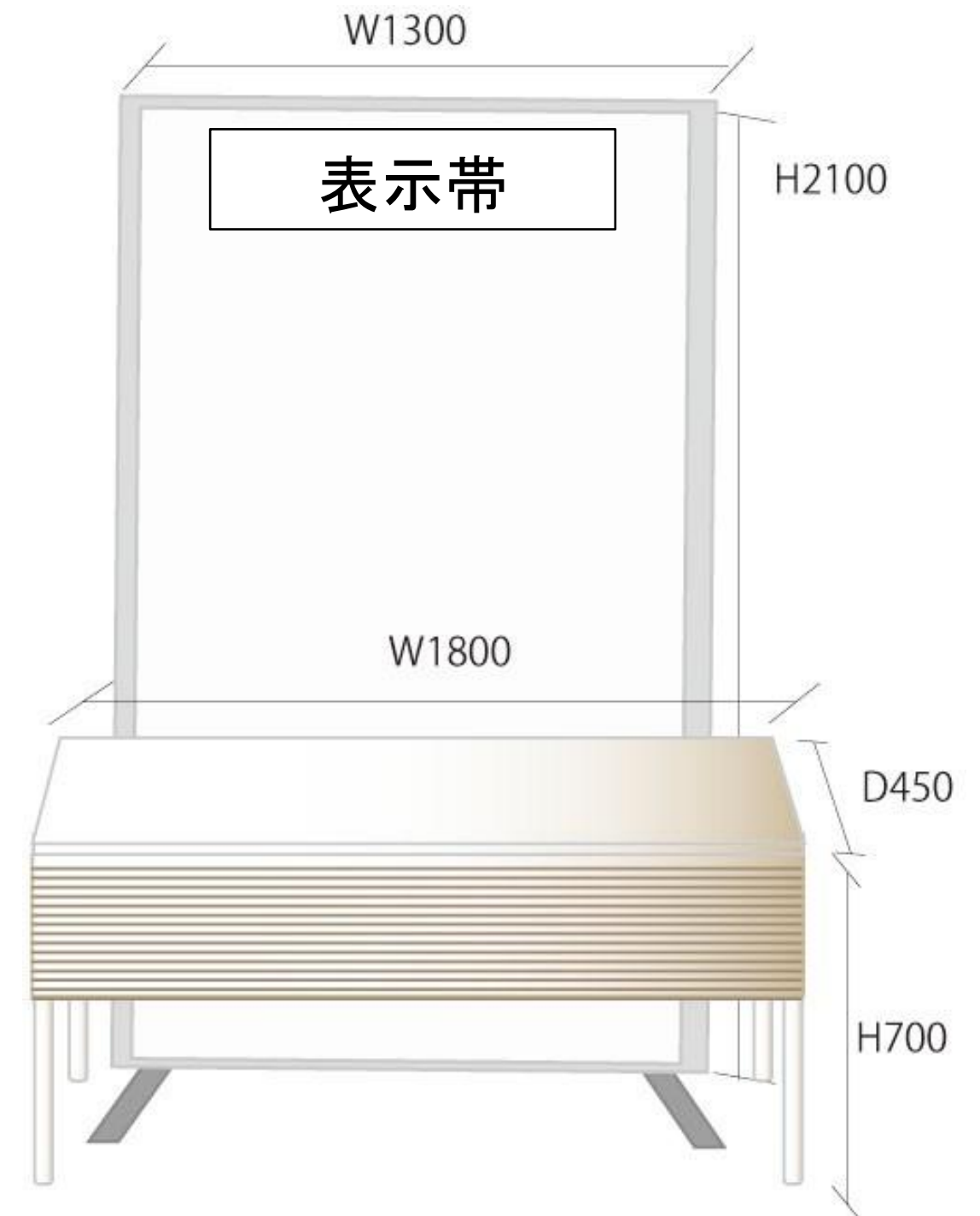
☆ 机：ボード前

☆ 研究室等表示帯：

学部・学科・研究室名等

☆ 貴名受

- ◆ ご来場者に名刺を入れていただく。
- ◆ 終了後に「貴名受」の名刺を回収し、後日、必要に応じてコンタクトしてください。
- ◆ 「貴名受」の札と箱はパネルの前の机の上
に置いておいてください。
- ◆ 研究・社会連携部のコーディネータからのコンタクトを希望の場合、名刺のコピーを右記送付の事。



研究・社会連携部 コーディネータ 吉田・佐藤(純)・藤木
Tel :086-256-9730 ext.1184、1185
E-mail: renkei@ous.ac.jp

3. 当日（ 8/27 ）のお願い

◇ 展示・取付け方法

☆コマンドタブで直接貼り付ける or （パネルをケースに入れる場合）チェーン（ひも）を介してフックにぶらさげる。

☆必要なコマンドタブは、研究・社会連携部で用意し、
当日は、各ポスターの机の上に置いています。

☆フックは研究・社会連携部で用意しますが、ケース、チェーン（ひも）は各自
用意してください。（フックを使用する場合、コマンドタブは用意しません。）



3. 当日（8/27）のお願い

◇ 搬入・搬出・設置方法・時間

☆ 当日（8月27日）の午前9時から正午までに、搬入・設置してください。

必ず、当日正午までに、設置を完了してください。

設置場所は、研究室等表示帯あるいは入り口にある表示を確認のこと。

搬出・撤収は、当日、17:10～17:45を厳守。

☆ 大学からの運搬：8月26日（水）13時までに研究・社会連携部までに届けていただければ、当日9時までに会場に運搬します（岡山キャンパスのみ）。

それ以外は、各自でお願いします。

3. 当日（ 8/27 ）のお願い

◇ ポスター展示、発表の方法

☆15時10分から16時40分までは、誰か（質問に答えられる方）がポスター前、あるいは近くにスタンバイしててください。16時40分から17時10分までは、他の教員のポスター閲覧のためにフリーとします。

☆デモ用必要設備の確認

デモンストレーションが必要な場合、適宜実施

☆パソコン等使用の場合、5 m程度のテーブルタップを用意してください。

◇ 交流会及び産学官金連携奨励賞の発表と表彰

☆産学官金連携奨励賞を受賞された方は、ご出席下さい。

3. 当日（ 8/27 ）のお願い

◇ その他

☆飲み物は、各自でご用意下さい。

☆弁当等を食べることのできる場所は、特に設けていません。

☆既にアナウンスした通り、駐車場が必要な方は、岡山コンベンションセンター地下（有料）や周辺の有料駐車場をご利用下さい。

ただし、**料金の支給はありません（自費となります）**。

ありがとうございました